



秘密特許制度は 戦争への道 学習会

コロナ禍の6月、菅内閣が閣議決定した骨太方針、成長戦略実行計画、統合イノベーション計画はいずれも、「経済安全保障」を柱の一つに掲げ、その中で「特許の『非公開化』を行うための検討を進める」と明記しています。日本には、日本国憲法の平和原則に反するとして廃止されるまで約60年間、秘密特許制度があり、軍事技術以外にも秘密の対象になりました。今、国家安全保障局が検討を進める秘密特許導入の狙いと特徴は何か、日本の科学・技術や産業、市民生活にどう影響があるかを考えてみましょう。

日時：7月17日（土）

14:00～16:00

講師：野村 康秀さん

（日本科学者会議科学・技術政策員会 元特許庁審査官）



場所：（株）たびせん・つなぐ

千代田区神田猿楽町1-3-1 北村ビル301（3階）

※会場参加は締め切りました。オンライン参加をお願いいたします。

資料代：500円（学生無料）

オンラインは、 配信です。

連絡先：千代田9条の会

住所：〒101-0051 千代田区神田神保町1-64 神保町ビル602

新婦人千代田支部気付

メール：chiyoda9jo@yahoo.co.jp

オンライン参加の場合は
ゆうちょ銀行 振込口座
00140-2-723907
までお振込みください。
手数料はご負担ください。

